

# 日本医療マネジメント学会

Japan Society for Health Care Management

## 第16回東京支部学術集会



メインテーマ：

地域包括ケア～多職種連携を問う～

会期：2016年（平成28年）3月12日（土）

会場：小金井 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）

〒184-0004 東京都小金井市本町6-14-45

電話：042-380-8077 Fax：042-380-8078

URL：<http://koganei-civic-center.jp/>

会長：上西 紀夫（公立昭和病院 企業長兼院長）

後援：公益社団法人 東京都医師会、一般社団法人8市医師会（清瀬市、西東京市、東久留米市、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市、小金井市）

一般社団法人 北多摩医師会、公益社団法人 東京都看護協会、

公益社団法人 東京都薬剤師会、一般社団法人 東京都病院薬剤師会

事務局：公立昭和病院地域医療連携室内

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1

Tel 042-461-0052（代）内線 8860 Fax 042-461-0143

e-mail [manage2016@showa-hp.jp](mailto:manage2016@showa-hp.jp)

# 目 次

会長挨拶 .....	3
交通案内図 .....	4
会場案内図 .....	4
参加者の皆様へのご案内・発表者へのご案内 .....	6
日程表 .....	9
プログラム .....	10
抄 録 .....	17
日本医療マネジメント学会の入会案内と入会手続き .....	86
第 18 回日本医療マネジメント学会学術集会のご案内 .....	90
協賛企業一覧 .....	92
広 告 .....	93



## 会 長 挨拶

このたび日本医療マネジメント学会第16回東京支部学術集会を、2016年3月12日（土）、小金井宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）にて開催させていただくことになりました。

本学会は、医療の質の向上を求めクリニカルパスの研究から発展し、医療安全、地域医療連携、感染対策、診療情報管理、チーム医療、看護ケア、病院運営、医療者教育など広く医療全般のマネジメントに関わる話題について、医師、看護師、医療事務職員、薬剤師、臨床検査技師等広い分野の医療従事者が集い、より良い医療のマネジメントにより地域医療に貢献することを目的に研究発表、討論、意見交換を行う重要な学会です。

本学術集会では、昨今の医療医学の進歩、電子化、社会情勢の変化、高齢化などの医療情勢の変化に伴い重要な課題となってきた地域医療連携クリニカルパス、地域包括ケアなど関連分野についてご討議頂き、今後の医療マネジメントの可能性や将来性について考えることを目的に、「地域包括ケア～多職種の連携を問う～」をテーマとしてプログラムを組みました。

その内容としては、基調講演は厚労省中医協の入院医療の調査・評価分科会会長の武藤正樹先生（国際医療福祉大学教授）に、教育講演はわが国の外科手術のデータベースであるNCD（National Clinical Database）を立ち上げた宮田裕章先生（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授 / 東京大学医療品質評価学教授）に、特別講演は地域での在宅看取りを広範囲に展開されている井尾和雄先生（立川在宅ケアクリニック理事長）に、それぞれのお立場からのお話しをしていただくことにしました。

また、チーム医療そして医療安全の観点からパネルディスカッション「地域包括ケア時代に向けて～地域で取り組む感染対策について考える～」を、今後、院内のみならず在宅医療・介護における役割の重要性に注目したシンポジウム「看護師による特定行為の意義と今後の展望」を企画しました。

さらに、一般演題口演においては、司会に加えてコメンテーターにも参加をいただき、議論をより深めていただくことに致しました。

今回の学術集会が多くの方の皆様にとって、新たな知識の獲得と見識を深めるよい機会になることを願い、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本医療マネジメント学会  
第16回東京支部学術集会  
会長：上西 紀夫  
(公立昭和病院 企業長兼院長)

# 交通案内図

会場：小金井 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）

〒184-0004 東京都小金井市本町 6-14-45

電話：042-380-8077 Fax：042-380-8078 URL：http://koganei-civic-center.jp/



# 会場案内図

ホール地下1階

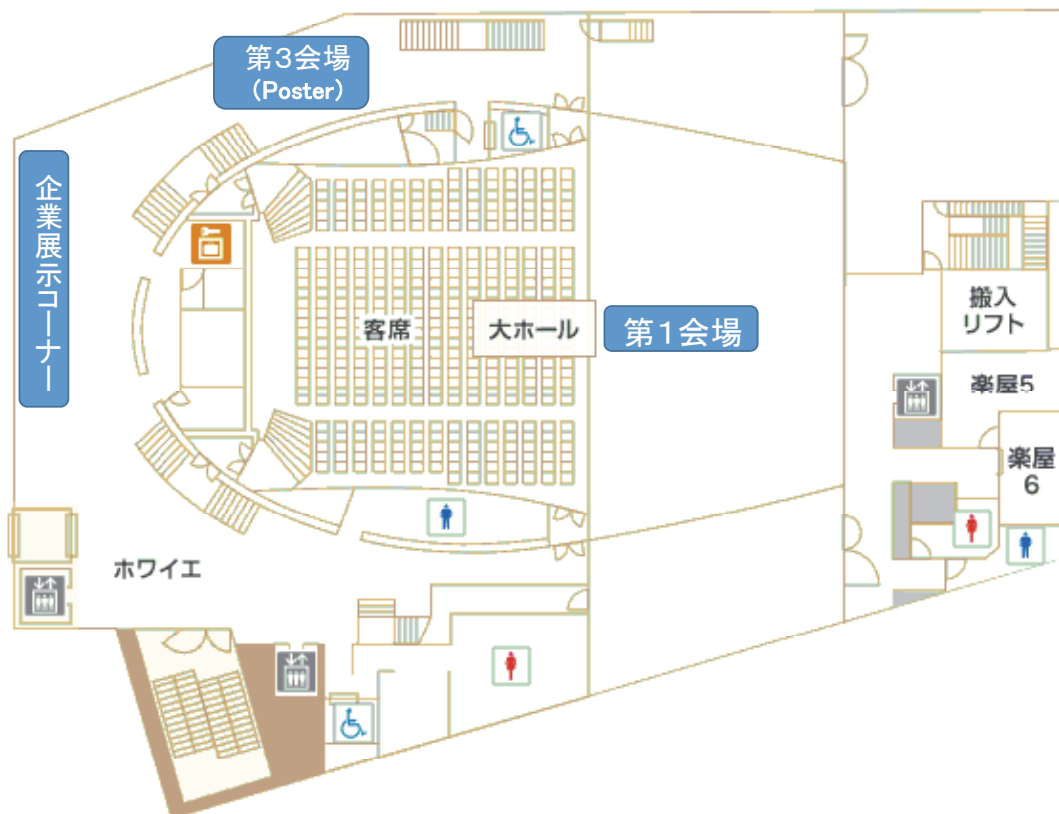


# 会場案内図

## ホール1階



## ホール3階



# 参加者の皆様へのご案内

## 1. 当日参加費

会員：3,000円 非会員：4,000円

※ 学生料金の設定はありません。

注) 事前登録をされた方は、事前割引料金が適用されています。尚事前登録者でも口座への入金確認ができなかった方は、当日料金となりますので、ご了承ください。

※ 入金確認のため、振込の控えを持参いただくと幸いです。

(事前登録会員：2,500円、事前登録非会員：3,500円)

## 2. 抄録集

抄録集代金は、参加費に含まれます。余分に購入希望の場合は、受付にて1冊1,000円で販売致します。数に限りがございますので、在庫切れの場合はご了承下さい。

## 3. 参加受付（公共の施設のため9:00開場です。ご注意ください。）

受付時間：9:15～16:30

会場：ホール 1階ロビー

※ 参加費と引き換えに抄録集と名札（参加証）をお受け取りの上、名札（参加証）に各自で所属・氏名をご記入下さい。期間中会場に入場するには必ず着用下さい。

## 4. クローク（注：ウォームビズのためコート類のお預かりはございませんのでご了承下さい。）

受付時間：9:15～18:00

会場：ホール 1階ロビー

## 5. ランチョンセミナー

※ 整理券制ではありません。先着順でお弁当引換券を配布します。

時間：12:10～13:00

会場：ホール 3階大ホール

注) 大ホール内は飲食禁止のため、セミナー終了後、引換券をお持ちの方に1階ロビーにてお弁当を配布しますので、所定の場所にて、お食事をお取り下さい。

(1階・小ホール内、地下1階・市民ギャラリー、和室)

## 6. 企業展示

展示時間：9:15～16:45

会場：ホール 3階大ホール前ホワイエ

## 7. 東京支部幹事会

時間：12:15～12:45

会場：ホール 2階 楽屋4

## 8. 総会

時間：13:15～13:45

会場：ホール 3階大ホール

## 9. 第16回学術集会優秀演題賞（総会時表彰）

応募いただきました「一般演題（口演・ポスター）」の中から優秀な演題に対し、「第16回学術集会優秀演題賞」を総会の際に授与します。一般演題のご発表者は必ず総会にご出席下さい。

## 10. 録音機材・ビデオ・カメラの持ち込み

- 1) 講演および発表の録音、録画をご遠慮下さい。
- 2) ポスターを撮影する場合は、発表者の許可を得てからお願いします。
- 3) 学術集会事務局が記録のため会場内の写真撮影をする場合がございます。ご協力をお願いいたします。

## 11. 施設ご利用について

- 1) 飲食は、ホール3階ホワイエ、1階小ホール、地下1階市民ギャラリー、和室のみ可能です。そのほかの会場、スペースでの飲食をご遠慮下さい。
- 2) 館内は全て禁煙です。
- 3) 会場には、来場者用の駐車場はございませんので、近隣の駐車場（有料）をご利用下さい。

## 12. 単位申請について（単位申請受付にて参加証および認定シールを交付します。）

- 1) 日本医師会における生涯教育講座単位（5単位）
- 2) 日本薬剤師研修センターにおける研修認定薬剤師制度集合研修単位（4単位）
- 3) 日病薬病院薬学認定薬剤師制度（4単位）  
※ 2)、3)については、いずれか一方の交付となります。
- 4) 日本医療情報学会における医療情報技師生涯研修単位（1単位）

記名された名札（参加証）をお持ちでない方の受付は致しかねますので、予めご了承下さい。

## 13. その他

- 1) 会場内での呼び出しは行いませんので、予めご了承下さい。
- 2) 会場内での携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定など、ご配慮下さい。

# 発表者へのご案内

## 1. 一般演題（口演発表）演者の方へ

- 1) 口演でのご発表は、PC（Windows）のみでの発表となります。
- 2) 一般口演の発表時間は6分、討論時間は2分です。枚数の制限はありますが、発表時間を厳守下さい。
- 3) 発表方法・準備機材等について
  - ① 演者の方は、発表セッション開始の20分前までPC試写デスクにて演者受付並びに発表データの確認をお願い致します。ご自身の発表の10分前までに次演者席にお越し下さい。

- ② 発表データは CD-R か USB メモリーにてご用意下さい。
- ③ 当日会場に設置される PC の OS は Windows OS7 対応機種をご用意しております。  
(Macintosh ご利用の方はパソコンをご持参頂ければご使用可能です。)
- ④ アプリケーションソフトは Microsoft Power Point (2007, 2010, 2013) をご利用頂きます。
- ⑤ ファイル名は、「セッション・演題番号・演者名」として下さい。
- ⑥ フォントは OS 標準のもののみご使用下さい。
- ⑦ 発表の際は、演台に設置しておりますキーボード・マウスを使用し、演者ご本人により操作をお願い致します。
- ⑧ データ持込、P C 持込何れの場合も、最新のウイルスチェックをして会場にご来場下さい。

## 2. 一般演題 (ポスター発表) 演者の方へ

- 1) ポスターの発表時間は 4 分、討論時間は 2 分です。発表時間を厳守下さい。

討論は座長の指示に従い下さい。

### 2) 発表方法

- ① 演者の方は、参加受付後 10 時までに発表ポスターの掲示をお願い致します。

発表セッションの開始 10 分前までにご自身のポスター前で待機下さい。

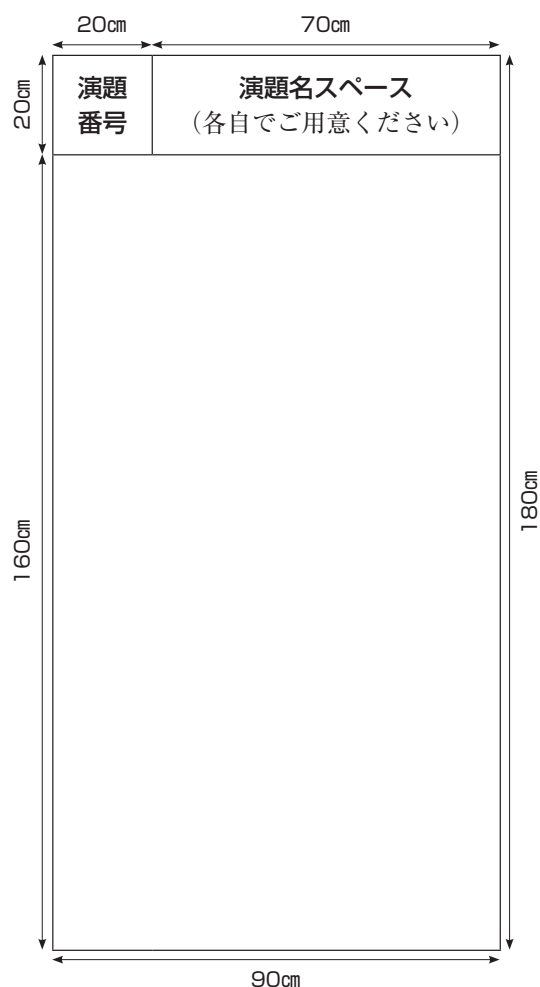
ポスターの撤去は、16:45 ~ 17:15 分までに行ってください。時間までに撤去されないポスターは大会本部にて廃棄処分とさせていただきますので、予めご了承ください。

### 3) ポスターの作成要領

- ① ポスター掲示用パネルは右図のようになります。

縦 180cm x 横 90cm のスペース内に、図表・写真・説明文などを配置下さい。パネル上段左端の演題番号は、大会本部で準備致します。演題名・所属・発表者の表示は縦 20cm x 横 70cm の大きさで各自ご用意下さい。大判ポスターを使用する場合は、上記の内容が含まれていれば、演題名の紙の用意は不要です。

- ② ポスター掲示用画鋏と指示棒はポスター受付にてお受け取り下さい。





# 日程表

時間	第1会場 3階 大ホール	第2会場 1階 小ホール	第3会場 3階 ホワイエ	第4会場 地下1階 市民ギャラリー
9:00				
9:30	9:40～ 開会の辞		9:20～10:00 ポスター掲示	9:20～10:00 ポスター掲示
10:00	9:45～10:30 基調講演 司会：平野 功（清瀬市医師会） 演者：武藤 正樹（国際医療福祉大学）			
10:30	10:30～12:00 パネルディスカッション 司会：小西 敏郎（東京医療保健大学） 小田 智三（公立昭和病院） パネリスト： 高山 義浩（沖縄県立中部病院） 木津 純子（慶應義塾大学） 篠原かおる（訪問看護ステーション青い空） 一ノ瀬直樹（公立昭和病院） 共催：第一三共株	10:30～11:15 一般演題：口演1「看護連携」 座長：川上 潤子 （日本赤十字社医療センター） コメンテーター：山元 友子 （（公財）東京都看護協会）		
11:00		11:15～12:00 一般演題：口演2「医療安全」 座長：阿部 和也 （多摩北部医療センター） コメンテーター：梅北 信孝 （東京都立墨東病院）		
11:30				
12:00				
12:30	12:10～13:00 ランチョンセミナー 司会：上西 紀夫（公立昭和病院） 演者：丸山 道生（田無病院） 共催：株式会社製薬工場、EN大塚		10:00～16:45 ポスター展示・閲覧	10:00～16:45 ポスター展示・閲覧
13:00		昼食会場		
13:30	13:15～13:45 支部総会・優秀演題賞表彰			
14:00	13:45～14:30 教育講演 司会：飯田 修平（練馬総合病院） 演者：宮田 裕章 （慶應義塾大学 / 東京大学）			
14:30	14:30～15:15 特別講演 司会：落合 慈之（東京医療保健大学） 演者：井尾 和雄 （立川在宅ケアクリニック）			
15:00				
15:30	15:20～16:10 一般演題：口演3「医療の質」 座長：村杉 雅秀（東京女子医科大学） コメンテーター：荒井 邦佳 （豊島病院）	15:20～16:50 シンポジウム 司会：有賀 徹 （昭和大学病院） シンポジスト： 岩澤 和子（厚生労働省 / 予定） 木澤 晃代（日本看護協会） 秋葉 悦子（富山大学） 新田 國男（医療法人社団つくし会） 共催：ニプロ株	15:20～16:00 一般演題：ポスター1「地域連携1」 座長：田中 良典 （武蔵野野十字病院）	15:20～16:00 一般演題：ポスター3「医療安全」 座長：瀬戸 僚馬 （東京医療保健大学）
16:00			16:00～16:40 一般演題：ポスター2「地域連携2」 座長：松元 俊（東京通信病院）	16:00～16:40 一般演題：ポスター4「医療の質」 座長：大高 弘敏（東大和病院）
16:30	16:10～17:00 一般演題：口演4「感染制御」 座長：三山 健司 （国立精神・神経医療研究センター病院） コメンテーター：池田 俊也 （国際医療福祉大学）			
17:00	17:00～17:50 一般演題：口演5「地域連携」 座長：稲田 進一 （蒲田クリニック） コメンテーター：山口 武兼 （豊島病院）	16:50～17:40 一般演題：口演6「チーム医療」 座長：津村 宏（東京医療保健大学） コメンテーター：大島 久二 （東京医療センター）	16:45～17:15 ポスター撤去	16:45～17:15 ポスター撤去
17:30				
18:00	17:50～ 閉会の辞			

## 3月12日(土) 第1会場(3階・大ホール)

9:45～10:30 基調講演

第1会場(3階・大ホール)

司会：平野 功(清瀬市医師会)

「2025年へのカウントダウン～地域医療構想と地域包括ケア～」

国際医療福祉大学大学院 武藤 正樹

10:30～12:00 パネルディスカッション

第1会場(3階・大ホール)

「地域包括ケア時代に向けて～地域で取り組む感染対策について考える～」

<講演>

司会：小田 智三(公立昭和病院感染症科)

PD-1 地域での感染対策の基本は標準予防策の徹底と適切な抗菌薬使用

慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 木津 純子

司会：小西 敏郎(東京医療保健大学)

PD-2 在宅ケアにおける感染対策の考え方

沖縄県立中部病院感染症内科 高山 義浩

<パネルディスカッション>

司会：小西 敏郎(東京医療保健大学)

小田 智三(公立昭和病院感染症科)

パネリスト

沖縄県立中部病院感染症内科 高山 義浩

慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 木津 純子

訪問看護ステーション青い空 訪問看護認定看護師 篠原かおる

公立昭和病院薬剤部 一ノ瀬直樹

共催：日本医療マネジメント学会東京支部第16回学術集会／第一三共株式会社

12:10～13:00 ランチョンセミナー

第1会場(3階・大ホール)

司会：上西 紀夫(公立昭和病院)

「病院食・術後食の国際比較 - 世界の病人は何を食べているのか? -」

田無病院 丸山 道生

共催：株式会社大塚製薬工場、E N大塚

※本セミナー会場では飲食の制限があるため、講演終了後に第2会場他にて食事をお取りいただく方式となりますので、ご注意下さい。1階第2会場前で、お弁当をお渡し致します。

13:15～13:45 支部総会・優秀演題賞表彰

第1会場(3階・大ホール)

**13:45～14:30 教育講演** **第1会場（3階・大ホール）**  
 司 会：飯田 修平（公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院）  
 「地域包括ケアにおける保健医療の質の向上の課題と展望 -ビッグデータ時代におけるICT活用」  
 慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学 / 東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学  
 宮田 裕章

**14:30～15:15 特別講演** **第1会場（3階・大ホール）**  
 司 会：落合 慈之（東京医療保健大学）  
 「都会における地域包括ケアシステムと在宅緩和ケア」  
 立川在宅ケアクリニック 井尾 和雄

**15:20～16:10 一般演題：口演3「医療の質」** **第1会場（3階・大ホール）**  
 座 長：村杉 雅秀（東京女子医科大学）  
 コメンテーター：荒井 邦佳（東京都保健医療公社 豊島病院）

- 3-1 全てのがん患者の"Quality of Lifeの改善"を目指したCancer Rehabilitation Candidate Recruitment システム～特にCyberKnife患者に注目して  
 西山 卓志（新百合ヶ丘総合病院・リハビリテーション科）
- 3-2 演題取り下げ
- 3-3 Low-CostでHigh-QualityなHISへの展開  
 佐藤 譲（榊原記念病院）
- 3-4 医療・看護必要度入力ヘルプツールの作成  
 阿部 和也（東京都保健医療公社 多摩北部医療センター）
- 3-5 「分かりやすい要因分析」学習会への取り組み－メディカルセーフター分析を活用して－  
 西山 貴子（東京都立神経病院）
- 3-6 病院給食（入院時食事療養）における個人対応の現状－大規模急性期病院の給食マネジメント－  
 宮田 美里（東京医療保健大学）

**16:10～17:00 一般演題：口演4「感染制御」** **第1会場（3階・大ホール）**  
 座 長：三山 健司（国立精神・神経医療研究センター病院）  
 コメンテーター：池田 俊也（国際医療福祉大学大学院）

- 4-1 「練馬総合病院 SSI 予防ガイドライン」作成の取り組み  
 金内 幸子（東京都医療保健協会 練馬総合病院）

- 4-2 抗菌薬適正使用に向けた病棟薬剤師の取り組み  
有川 朗子（久我山病院・薬剤部）
- 4-3 訪問看護における職業感染対策に関する実態調査報告  
雨宮 良子（日野市立病院）
- 4-4 質評価指標を活用した抗菌薬適正使用の推進  
佐瀬 裕子（東京医科歯科大学医学部附属病院 クオリティ・マネジメント・センター）
- 4-5 中小病院における抗 MRSA 薬使用届出制の在り方に関する一考察  
石塚 博子（久我山病院・薬剤部）
- 4-6 B 型肝炎ウイルス再活性化対策における薬剤師の介入  
石田 聖（東京都保健医療公社 豊島病院・薬剤科）

**17:00～17:50 一般演題：口演5「地域連携」 第1会場（3階・大ホール）**  
 座長：稲田 進一（蒲田クリニック）  
 コメンテーター：山口 武兼（東京都保健医療公社 豊島病院）

- 5-1 地域医療連携における取り組み～医療・介護・福祉施設との情報交換会を実施して～  
小門 尚子（公立阿伎留医療センター）
- 5-2 行政単位を超えた連携推進を目的とした「在宅医療・緩和ケアカンファレンス」の取り組み  
池田 登顕（在宅医療・緩和ケアカンファレンス）
- 5-3 地域基幹病院と学校・保育現場との新たな医療ネットワークの構築  
～アナフィラキシー対応ホットラインの設立を通して～  
大場 邦弘（公立昭和病院）
- 5-4 嚥下調整食コードを用いた地域連携の取り組み  
佐川敬一郎（日本歯科大学大学院 生命歯学研究科臨床口腔機能学）
- 5-5 当院地域包括ケア病棟の現状  
松本 徹也（緑成会病院・リハビリテーション部）
- 5-6 在宅療養へつなぐ退院支援と課題 ～退院後訪問を通して～  
环 雪絵（東京労災病院・入退院支援センター）

**17:50～ 閉会の辞 第1会場（3階・大ホール）**

## 3月12日（土） 第2会場（1階・小ホール）

10:30～11:15

一般演題：口演1「看護連携」

第2会場（1階・小ホール）

座長：川上 潤子（日本赤十字社医療センター）

コメンテーター：山元 友子（（公財）東京都看護協会）

- 1-1 AI（Appreciative Inquiry）の看護管理への活用による評価  
逢坂 範子（南台病院・看護部）
- 1-2 PNS 導入から2年目を迎えて  
石川 美和（公立昭和病院・救命救急センター）
- 1-3 看看連携を目指した病棟看護師による訪問看護報告～療養者への満足度を調査して～  
池 麻秩子（東京都立神経病院・看護科）
- 1-4 整形外科病棟看護師育成に向けた重症管理室への「院内留学」  
北明 幸子（佐々総合病院・整形外科病棟）
- 1-5 当院の救急外来を受診する患者の傾向と救急外来看護師の教育支援の検討  
五野井千夏（公立昭和病院・救命救急センター）

11:15～12:00

一般演題：口演2「医療安全」

第2会場（1階・小ホール）

座長：阿部 和也（多摩北部医療センター）

コメンテーター：梅北 信孝（東京都立墨東病院）

- 2-1 当院における人工呼吸器関連事故防止活動の効果と課題－I Aレポート分析結果より－  
堀口 剛志（東京都立神経病院・看護科18A病棟）
- 2-2 WHO手術安全チェックリスト導入の効果  
新倉 貴子（東京都保健医療公社 豊島病院・看護部手術室）
- 2-3 業務連絡（エマージェンシーコール）報告の分析  
根本優美子（東京都保健医療公社 豊島病院・医療安全対策室）
- 2-4 多職種による転倒予防ラウンドについての取り組み報告  
亀谷 武昭（東京都保健医療公社 豊島病院・看護部安全推進委員会）
- 2-5 当院回復期リハビリテーション病院におけるADL自立度チェックシートの取り組み  
鍛冶 宏宣（小金井リハビリテーション病院・リハビリテーション科）

15:20～16:50 シンポジウム

第2会場（1階・小ホール）

司会：有賀 徹（昭和大学病院）

「看護師による特定行為の意義と今後の展望」

SS-1 特定行為に係る看護師の研修制度について

厚生労働省医政局看護課 岩澤 和子（予定）

SS-2 特定行為研修制度の効果的な活用と今後の展望

日本看護協会 看護研修学校 木澤 晃代

SS-3 看護師の特定行為の意義—イタリア看護学の視点から

富山大学経済学部経営法学科 秋葉 悦子

SS-4 地域医療における看護師による特定行為の役割と意義

全国在宅療養支援診療所連絡会 / 医療法人社団つくし会  
新田 國男

共催：ニプロ株式会社

※ 本セッションには、茶菓とドリンクのサービスがございますので、セッションに参加の方は、会場入り口にて、資料と一緒にお受け取り下さい。

16:50～17:40 一般演題：口演6「チーム医療」

第2会場（1階・小ホール）

座長：津村 宏（東京医療保健大学）

コメンテーター：大島 久二（国立病院機構 東京医療センター）

6-1 退院支援計画書の作成率からみたソーシャルワーカー（SW）の病棟担当制の効果  
石井 征輝（東京大学医学部附属病院・地域医療連携部）

6-2 職種間・部門間連携による退院支援の取組み—脳神経外科病棟をモデルケースとして—  
森口はるな（東京大学医学部附属病院・地域医療連携部 SW）

6-3 病棟看護師による退院支援の実践に向けた課題  
樽矢 裕子（東京都保健医療公社 多摩北部医療センター）

6-4 骨粗鬆症患者のQOL改善の一考察—整形外科クリニックにおける多職種協働の実際—  
田邊 美香（今給黎整形外科クリニック）

6-5 放射線治療室における多職種連携の重要性  
石川 亜希（東京都立墨東病院・看護部）

6-6 思考スキーム知識共有法における議論促進の改善  
神山 資将（知識環境研究会）

## 3月12日(土) 第3会場(3階・ホワイエ)

15:20～16:00 一般演題：ポスター1「地域連携1」 第3会場(3階・ホワイエ)

座長：田中 良典(武蔵野赤十字病院)

- P1-1 回復期リハビリテーション病院である当院の患者動向  
神野 雄哉(小金井リハビリテーション病院・リハビリテーション科)
- P1-2 ケアマネージャー交流会開催報告 高度急性期医療を提供する病院の地域連携を考える  
小池江利子(国立病院機構 東京医療センター)
- P1-3 ケアリンピック武蔵野 2015の開催の目的  
藤澤 節子(薬局 ルンルンファーマシー)
- P1-4 転移性胸膜腫瘍による難治性気胸に対し両側胸腔ドレーン留置で在宅医療を継続した症例  
稲島 司(東京大学医学部附属病院・地域医療連携部)
- P1-5 脳卒中により孫の養育が困難となった事例における意思決定支援  
佐藤 浩二(国立病院機構 災害医療センター・地域医療連携室医療相談係)
- P1-6 共創的ターミナルケアの提案  
神山 資将(知識環境研究会)

16:00～16:40 一般演題：ポスター2「地域連携2」 第3会場(3階・ホワイエ)

座長：松元 俊(東京通信病院)

- P2-1 当院における薬薬連携の取り組み  
手塚 里美(久我山病院・薬剤部)
- P2-2 退院時の薬渡し忘れ防止の取り組み  
中村 央子(東京都保健医療公社 豊島病院・看護部)
- P2-3 内服薬準備時の看護師の確認行為の実態調査  
大内美智子(東京都保健医療公社 荏原病院)
- P2-4 当院におけるポリファーマシー対策  
市地 智子(緑成会病院・薬剤部)
- P2-5 在宅医療における薬剤師職能啓発活動～多職種協働に向けて～  
上原 健嗣(小平市薬剤師会)
- P2-6 抗がん剤曝露対策研修を看護師基礎研修に組み込んだ結果報告～安全な職場環境づくりを目指して～  
小林 香織(東京都保健医療公社 豊島病院)

## 3月12日（土）第4会場（地下1階・市民ギャラリー）

15:20～16:00 一般演題：ポスター3「医療安全」 第4会場（地下1階・市民ギャラリー）

座長：瀬戸 僚馬（東京医療保健大学）

- P3-1 チームダイナミクスを取り入れた急変時対応の取り組み  
原田 良子（東京都立墨東病院・手術室）
- P3-2 転倒転落アセスメントシートの検証  
根本優美子（東京都保健医療公社 豊島病院・医療安全対策室）
- P3-3 安全点検チェックリストを使用した患者ラウンドの効果  
横地 美玲（東京都保健医療公社 豊島病院・看護部）
- P3-4 栄養科における医療安全管理への取り組み  
山本 淳子（東京都保健医療公社 多摩南部地域病院・栄養科）
- P3-5 転倒・転落防止への取り組み－転倒・転落インシデントレポートからの要因分析－  
亀井 春美（東京都健康長寿医療センター・看護部）

16:00～16:40 一般演題：ポスター4「医療の質」 第4会場（地下1階・市民ギャラリー）

座長：大高 弘稔（東大和病院）

- P4-1 胃瘻造設・管理の体制再構築 - 嚥下内視鏡検査評価（VE）の導入 -  
栗原 直人（東京都医療保健協会 練馬総合病院・NST 委員会）
- P4-2 当院における大腿骨近位部骨折パスの運用報告  
谷崎 麻綾（小金井リハビリテーション病院・リハビリテーション科）
- P4-3 大腸切除術後患者指導においてパンフレットを用いて説明することの有効性  
平沢 梨枝（東京都保健医療公社 豊島病院・3A 病棟）
- P4-4 緊急手術によってストーマ造設となった患者の各治療時期における心理的状況  
青野 宏子（東京都保健医療公社 豊島病院）
- P4-5 主任看護師のコンピテンシー自己評価の試みに関する実態調査  
－施設の傾向と評価者へのアンケート－  
松浦 典子（公立福生病院）